

令和5年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 倶知安町 （都道府県： 北海道 ）

1. 当該地域の情報（令和 6年 1月末現在）

地域の課題	2000年代ころから徐々に外国籍住民が増加し、特にコロナ前は冬季間に人口の15%が外国籍住民という状況まで増加している。また、外国籍住民の増加にあわせて、その国籍も多国籍化し、居住地も町内全域に広がっている。 そのため、外国籍住民と地域の日本人住民が関わる機会も増加しており、コミュニケーション不足によるトラブルが今後発生することが懸念されることもあり、日本語教育の必要性がでてきている。 また、以前実施した多文化共生のまちづくりに関するアンケート調査でも、外国籍住民の回答者の多くが、「日本語を学習したい」と回答するなど、外国籍住民からのニーズも高いが、町内に日本語教育の場はないのが現状である。
在住外国人数 外国人比率	【在住外国人数】2,897人 【外国人比率】17.5%
在住外国人の状況	【主な国籍と人数】オーストラリア 801人、英国 427人、台湾 198人、中国 181人、ニュージーランド 158人、カナダ 133人、アルゼンチン 90人、フィリピン 81人、フランス 73人、米国 57人 【在留資格】特定活動 1,759人、技術・人文・国際 514人、技能 197人、永住者 114人、家族滞在 98人、日本人配偶者 70人、経営・管理 44人、特定技能1号 33人、技能実習1号 18人、永住者配偶者 9人 【滞在年数・在留期間などの状況】 倶知安町は国際的なリゾートを有することから、様々な在留資格で、多くの外国人が滞在している。外国籍住民の多くが3年以内の滞在である一方で、10年以上となる滞在者も一定程度いる。国籍については、外国籍住民が増え始めた当初は英語圏からの外国人が多かったものの、近年は多国籍化が進んでいる。
在住外国人の日本語教育の現状	2019年のアンケート調査では、生活で困っていることの多くが「ことば」であり、回答者の約半数が「日本語を学習したい」「機会があれば学習したい」と回答した。また、町に期待する多文化共生の取り組みとして最も多いのが「日本語教育・教室の充実」であったものの、本町では、これまで日本語教室を開催した実績は無いのが現状である。

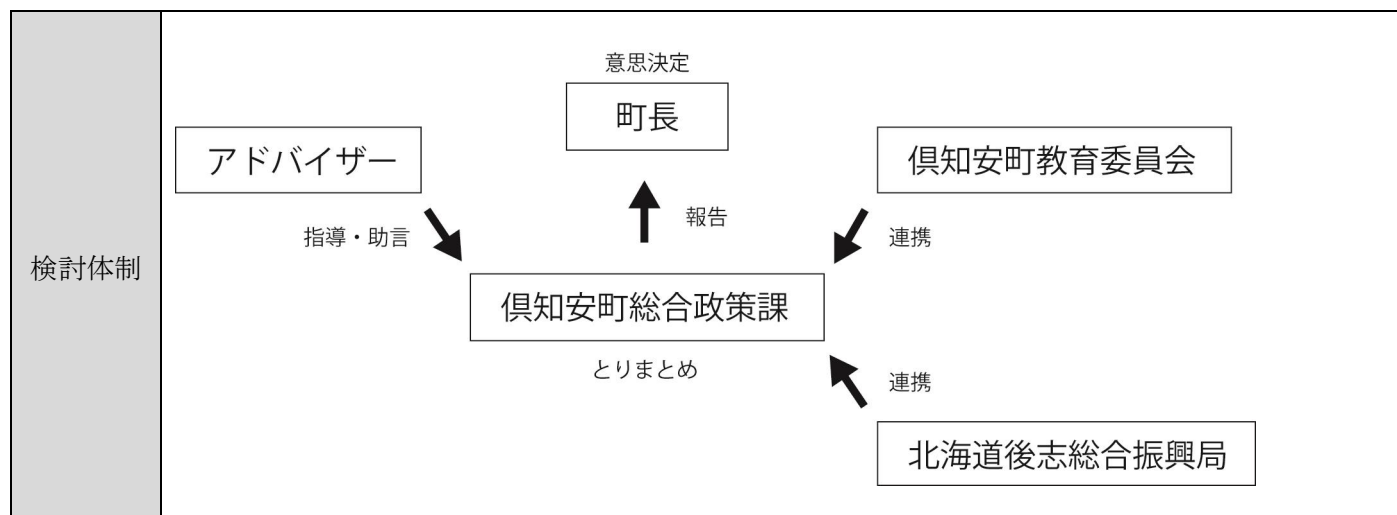
2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目
事業の目的	日本語が話せないことによる外国籍住民と地域住民とのコミュニケーション不足は地域課題の一つであり、外国籍住民への日本語教育はもちろんのこと、教室の参加を通じて日本で暮らすうえでの生活習慣の違いや地域のルールやマナーへの理解を、これまで以上に深めてもらうことで、外国籍住民と地域住民の双方にとって、住みよいまちづくりの形成を目指す。 また、サポーターとして地域住民が参加することにより、日本人にも多文化共生に対する理解を深めてもらう。
事業の概要	2019年のアンケート調査では、外国籍住民の生活で困っていることの多くが「ことば」であり、回答者の約半数が「日本語を学習したい」「機会があれば学習したい」と回答しているため、外国籍住民が日本語の学習と共に、母国と日本との生活習慣の違いや地域のルールやマナーに対する理解を深めることができる場となる日本語教室の運営・開催方法について検討を行い、にほんごサロンを開催した。また、地域住民に多文化共生に対する理解を深めてもらうため、学習サポーター勉強会・養成講座を実施した。 にほんごサロンを定期的に開催したことで、外国籍住民への日本語教育の場の提供、外国籍住民・日本人住民双方の居場所づくりにつながった。
事業の対象期間	令和5年5月～令和6年3月

前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	くっちゃんにほんごサロン「にこちゃん」の実施(令和4年10月～3月)計24回 日本語教室プレ教室(令和4年6月～7月)計6回 サポーター勉強会(令和4年6月～令和5年1月)計7回 日本語学習支援者養成講座・ブラッシュアップ講座(令和4年9月)各3回 Shiribeshi 留学との連携による出張「にほんごサロン」(令和5年2月)計1回			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	辺見 一樹	倶知安町 総合政策課	広報広聴係長	教室の継続に向けた環境整備、住民への意識啓発、関係機関との調整
	佐藤 礼乃	倶知安町 総合政策課	地域おこし協力隊	教育プログラムの検討など教室の運営に関すること
	萩原 麻紀	倶知安町 総合政策課	主幹	教室の継続に向けた環境整備
	横山 有紀	倶知安町 総合政策課	広報広聴係	住民への意識啓発、関係機関との調整
	宮嶋 伸行	倶知安町 教育委員会	社会教育係長	会場の予約・使用の調整
	加藤 邦彦	北海道後志総合振興局	主査	関係機関との調整
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	井上 洋	明治大学国際 日本学部	兼任講師	継続 ・新規(3年目)
	土井 佳彦	NP0 法人多文化共生リソースセンター東海	代表理事	継続 ・新規(3年目)
	阿部 仁美	一般社団法人 北海道日本語センター	理事	継続 ・新規(3年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



	総合政策課が中心となり、町教育委員会や北海道後志総合振興局などと連携・協力を図り、外国籍住民が生活習慣の違いや日本で暮らすうえで必要なルール・マナーなどへの理解を深めるための日本語を学ぶ場（にほんごサロン）を実施する。3年目は、これまでの活動を基盤として、継続的な開催・地域にあった運営ができるよう検討を行う。 事務局：倶知安町（総合政策課）・・・関係機関との調整・学習ニーズ調査・指導者人材の発掘及び育成（町教育委員会及び北海道後志総合振興局と連携） 全体を通して指導・助言：アドバイザー	
所属（担当課）	職名	担当者名
倶知安町総合政策課	課長	福家 朋裕
倶知安町総合政策課	主幹	萩原 麻紀
倶知安町総合政策課	係長	辺見 一樹
倶知安町総合政策課	主事	横山 有紀
倶知安町総合政策課	地域おこし協力隊	佐藤 礼乃
倶知安町総合政策課	国際観光推進員	瀬尾 智江
倶知安町教育委員会社会教育課	課長	福原 秀和
倶知安町教育委員会社会教育課	主幹	宮嶋 伸行
倶知安町教育委員会社会教育課	係長	奥山 琢矢
北海道後志総合振興局地域創生部	主査	加藤 邦彦

（２）日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制	<pre> graph TD Adv[アドバイザー] -- "指導・助言" --> CC[倶知安町総合政策課教育委員会] CC <--> "支援・協力" BH[北海道後志総合振興局] CC -- "人材発掘・教室運営の支援" --> JC[日本語教室
（運営組織未定）] BH -- "教室運営の支援" --> JC KA[倶知安観光協会] -- "学習者の募集協力" --> JC JC <--> "支援者（地域住民）の募集・教室運営の協力" KSC[倶知安町社会福祉協議会
倶知安商工会議所] </pre>		
	倶知安町における持続的な日本語教室の実施にあたり、町総合政策課と教育委員会が中心となり、関係機関・団体・企業との連携・協力を図る。 【連携内容】 ①日本語教室の実施にあたり、学習者・学習サポーターの募集などについて業界団体と連携を図る ②地域住民の日本語教育への理解を深めるため、地域の幅広い層に参加を促すことにより、異文化交流の機会を創出する ③学習内容や、サポーターの人材育成などについて、日本語教育の有資格者など専門家の意見を取り入れ、検討する		
組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
倶知安町	総合政策課	主幹	萩原 麻紀

倶知安町	総合政策課	係長	辺見 一樹
倶知安町	総合政策課	主事	横山 有紀
倶知安町	総合政策課	地域おこし協力隊	佐藤 礼乃
倶知安町教育委員会	社会教育課	主幹	宮嶋 伸行
倶知安町教育委員会	社会教育課	係長	奥山 琢矢
北海道後志総合振興局	地域創生部	主査	加藤 邦彦
北海道後志総合振興局	地域創生部	主事	山陰 龍也
倶知安観光協会	-	-	-
倶知安町社会福祉協議会	-	-	-
倶知安商工会議所	-	-	-

4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
令和5年 4月			
令和5年 5月	①サポーター勉強会 ②にほんごサロン「にこちゃん」	①②勉強会・にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営	
令和5年 6月	①キックオフ会議 ②にほんごサロン「にこちゃん」	①事業計画の検討 ②にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営	井上洋アドバイザー 土井佳彦アドバイザー 阿部仁美アドバイザー ①事業計画の検討
令和5年 7月	①サポーター勉強会 ②にほんごサロン「にこちゃん」 ③アドバイザー会議	①・②勉強会・にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営 ③事業計画書の確認（メール）	井上洋アドバイザー 土井佳彦アドバイザー 阿部仁美アドバイザー ①事業計画書の確認
令和5年 8月	①にほんごサロン「にこちゃん」 ②先進地視察	①にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営 ②先進地視察	
令和5年 9月	①サポーター勉強会 ②にほんごサロン「にこちゃん」 ③日本語学習支援者養成講座・ブラッシュアップ講座 ④アドバイザー会議	①・②・③勉強会・にほんごサロン・養成講座の実施に向けた準備・当日の運営 ④事業の進捗状況の報告・今後の活動の検討、にほんごサロンの視察や他団体のヒアリングなど	井上洋アドバイザー ★土井佳彦アドバイザー ★阿部仁美アドバイザー ①事業の進捗状況の報告 ②今後の活動の検討 ③にほんごサロンの視察・他団体のヒアリング
令和5年 10月	①にほんごサロン「にこちゃん」 ②地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修	①にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営 ②研修への参加	
令和5年 11月	①にほんごサロン「にこちゃん」 ②実施団体情報交換会	①にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営 ②会議への参加	

令和5年 12月	①サポーターミーティング ②にほんごサロン「にこちゃん」 ③先進地視察 ④コーディネーター情報交換会	①・②ミーティング・にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営 ③先進地視察 ④会議への参加	
令和6年 1月	①にほんごサロン「にこちゃん」	①にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営	
令和6年 2月	①にほんごサロン「にこちゃん」 ②アドバイザー会議	①にほんごサロンの実施に向けた準備・当日の運営 ②事業の進捗状況の報告・今後の活動の検討、にほんごサロンの視察や他団体のヒアリングなど	井上洋アドバイザー ★土井佳彦アドバイザー ★阿部仁美アドバイザー ①事業の進捗状況の報告 ②今後の活動の検討 ③にほんごサロンの視察・他団体のヒアリング
令和6年 3月			

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	くっちゃんにほんごサロン「にこちゃん」						
外国人参加者について	〔国籍〕 オーストラリア・台湾・英国・中国・ミャンマー・イタリアなど 31 カ国・地域の 106 名 〔属性〕 中長期的な滞在者（技人国・技能実習等）を主な対象とするが、一部短期滞在者（特定活動）もいる						
参加者数 (内 外国人数)	全体 学習者 106 名 サポーター 53 名						
開催時間数	総時間 69 時間			内訳 1.5 時間 × 46 回			
目標	開催方法・周知方法等を検討し、今後も継続的な開催につなげていく						
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	令和 5 年 5 月 15 日(月) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	2	(初級) どこですか (中級) 居酒屋	テーマに合わせて会話の練習	サポーター5 名
2	令和 5 年 5 月 18 日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	3	(初級) レストラン (中級) 料理の作り方・調味料	テーマに合わせて会話の練習	サポーター7 名
3	令和 5 年 5 月 25 日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	フリー（過去の教材などから学習者が学びたいテーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の練習	サポーター9 名
4	令和 5 年 5 月 29 日(月) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	0	(初級) 困ったときの言い方 (中級) 子どもの教育	学習者が 0 だったため、サポーター同士の交流・意見交換を実施	サポーター4 名

5	令和5年 6月1日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	3	(初級) 日本人 に会ったとき (中級) 観光地	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター8名
6	令和5年 6月5日(月) 14:00~15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	3	(初級) 電車・バス (中級) 交通	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター5名
7	令和5年 6月8日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	5	(初級) 病院 (中級) さまざまな手続き	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名
8	令和5年 6月12日(月) 14:00~15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	3	フリー (過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ)	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター3名
9	令和5年 6月15日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	7	フリー (過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ)	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター3名
10	令和5年 6月19日(月) 14:00~15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	1	(初級) 雪・スキ ー場 (中級) スポー ツ	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター3名
11	令和5年 6月22日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	7	(初級) 買い物 (中級) 在留資 格・仕事の探し 方	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター8名
12	令和5年 6月26日(月) 14:00~15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	2	(初級) 好きな 食べ物 (中級) エンタ ーテインメント	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター1名
13	令和5年 6月29日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	7	(初級) 非常時 (中級) 郵便局・ ATM	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名
14	令和5年 7月27日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	(初級) レスト ラン (中級) 居酒屋	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名
15	令和5年 8月2日(水) 14:00~15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	4	(初級) どこで すか (中級) 観光地	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター4名
16	令和5年 8月3日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	4	(初級) 困った ときの言い方 (中級) エンタ ーテインメント	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター5名
17	令和5年 8月10日(木) 18:00~19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	(初級) 日本人 に会ったとき (中級) 子ども の教育	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター6名

18	令和5年 8月16日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	(初級) 病院 (中級) 病院	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター5名
19	令和5年 8月17日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	(スピーチ) 日 本に来てびっく りしたこと	テーマに関するスピーチ を作成し、全員の前で発表	サポーター9名
20	令和5年 8月30日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	5	(初級) 買い物 (中級) さまざ まな手続き	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター5名
21	令和5年 8月31日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	8	(スピーチ) 嘘当てゲーム	テーマに関するスピーチ を作成し、全員の前で発表	サポーター6名
22	令和5年 9月6日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	4	(初級) 電車・バ ス (中級) 交通	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター6名
23	令和5年 9月7日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	フリー(過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ)・ 書道	テーマに合わせて会話の 練習 書道体験	サポーター8名
24	令和5年 9月13日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	4	(初級) 冬・スキ ー場 (中級) スポー ツ	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター6名
25	令和5年 10月4日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	2	(初級) どこで すか (中級) 趣味	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター4名
26	令和5年 10月5日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	7	(初級) レスト ラン (中級) 天気	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名
27	令和5年 10月11日 (水) 14:00～ 15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	(初級) 買い物 (中級) 趣味	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名
28	令和5年 10月12日 (木) 18:00～ 19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	4	(スピーチ) 質問してみよう	テーマに関するスピーチ を作成し、全員の前で発表	サポーター5名
29	令和5年 10月18日 (水) 14:00～ 15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	2	(初級) 困った ときの言い方 (中級) あいづ ち	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター3名
30	令和5年 10月19日 (木) 18:00～ 19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	8	(初級) 日本人 に会ったとき (中級) テレビ・ 音楽	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名

31	令和5年 10月25日 (水) 14:00～ 15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	4	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター4名
32	令和5年 10月26日 (木) 18:00～ 19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	10	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター6名
33	令和5年 11月15日 (水) 14:00～ 15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	3	（スピーチ）自 分の国について	テーマに関するスピーチ を作成し、全員の前で発表	サポーター3名
34	令和5年 11月16日 (木) 18:00～ 19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	7	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名
35	令和5年 12月20日 (水) 14:00～ 15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	2	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター6名
36	令和5年 12月21日 (木) 18:00～ 19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	17	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター11名
37	令和6年 1月11日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	7	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター13名
38	令和6年 1月17日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	1	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター6名
39	令和6年 1月18日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	10	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター13名
40	令和6年 1月24日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	5	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター5名

41	令和6年 1月25日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	16	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター10名
42	令和6年 1月31日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	3	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター3名
43	令和6年 2月1日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	10	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター7名
44	令和6年 2月8日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	14	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター8名
45	令和6年 2月14日(水) 14:00～15:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	6	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター6名
46	令和6年 2月15日(木) 18:00～19:30	1 ・ 5	倶知安町 公民館	14	フリー（過去の 教材などから学 習者が学びたい テーマを選ぶ）	テーマに合わせて会話の 練習	サポーター8名

【主な活動】



にほんごサロン（6月15日）



にほんごサロン（9月7日）



にほんごサロン（10月26日）

教室の立ち上げ に係る問題とそ の対応策	現在は町・コーディネーターが運営のほとんどを行っており、今後は町・コーディネーター・サポーターの役割分担を明確にする必要がある。 参加回数が多いなど、活動に意欲的なサポーターを中心に、運営に参加できるような仕組みづくりを行っていく。
----------------------------	--

(3) その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
サポーター勉強会・サポーターミーティング	令和5年5月～令和5年12月（全8回、1回2時間）	にほんごサロン実施前に、サポーターとしての活動の振り返りや当日のテーマ決めなどを行うために、勉強会・ミーティングを実施した。 講師：（一社）北海道日本語センター 二通信子 倶知安町日本語教育コーディネーター 佐藤礼乃
日本語学習支援者養成講座・ブラッシュアップ講座	令和5年9月19日～21日（全3回） 13:30～16:30（3時間）	日本語教室での指導者（サポーター）がいないという課題を受けて、継続的な日本語指導体制を構築するために、外部講師に依頼し、日本語学習支援者養成講座を開催し、人材発掘及び育成につなげた。 また、すでにサポーターとして活動する人を対象としたブラッシュアップ講座も開催し、サポーターのスキルアップにもつながった。 【内容】（全3回、1回3時間） 養成講座講師：（一社）北海道日本語センター 二通信子、大井裕子、阿部仁美 第1回 地域の外国人と日本語学習支援、外国人とのコミュニケーションのための「やさしい日本語」 第2回 外国人の目から見た日本語、外国人は日本語をどう学ぶのか、「会話をしながら学ぶ」ということ 第3回 地域で日本語学習支援を始めるために、日本語教育の模擬体験 ブラッシュアップ講座講師：（一社）北海道日本語センター 二通信子、大井裕子、阿部仁美 第1回 理解を促す分かりやすい例文の作り方、オンラインでの日本語学習支援、地域で日本語学習支援を進めるために 第2回 「やさしい日本語」の応用、日本語学習支援の教材の使い方 第3回 文字学習へのアドバイス、学習者の発音の問題への対応、日本語教育の模擬体験
多文化共生イベント	令和5年5月～令和6年2月	にほんごサロンに参加する学習者とサポーター、普段サロンに参加しない地域住民が、お互いの文化や生活についてより理解を深めること、また参加者同士の交流を目的に実施する。 ・まちなか清掃活動（5月22日） ・ポットラックパーティー（7月3日、12月27日） ・ミニ運動会（7月15日） ・町民英語研修参加者との交流会（9月20日、11月22日） ・多文化料理サロン（11月5日） ・消防119番の日（11月9日） ・小学校授業での学習者の自国の紹介（2月21日） ・雪トピアフェスティバルむかし遊びイベント（2月17日、18日）
ShiriBeshi 留学との連携による出張「にこちゃん」	令和5年7月～令和6年2月（計4回）	「ShiriBeshi 留学」に参加する大学生がサポーターとして参加する「にほんごサロン」を開催した。 通常の「にほんごサロン」とは違い、会場をスキー場周辺エリアとしたことで、会場周辺に住む自力での移動手段を持たない新規学習者も参加することができ、既存サポーターにとっても良い刺激となった。 ※「ShiriBeshi 留学」・・・道内外の大学生が町内でインターンシップや地域交流を通じて語学の向上や地域の魅力を知ることがを目的に北海道後志総合振興局が実施

【主な活動】



サポーターミーティング
(12月14日)



ポットラックパーティー
(7月3日)



出張「にこちゃん」
(8月9日)

5. 今年度事業全体について

進捗状況	2年目からの継続と、少しの発展を目指して活動を行った。 ・サポーターの発掘・育成（5月～12月） にほんごサロンの継続的な開催につなげるために、外部講師に依頼し、サポーター勉強会や日本語学習支援者養成講座を開催し、人材発掘及び育成につなげた。 ・にほんごサロンの定期的な開催・交流イベントの開催（5月～2月） 週2回の開催を継続して実施した。また、他団体との交流イベントを開催することで、学習者やサポーターが、より多くの地域住民と関わる事ができたほか、多文化共生への地域理解の醸成につながった。
事業推進にあたり問題点と対応策	・町・コーディネーター・サポーターが共通意識を持つ サポーターそれぞれの参加意識の違いや、町が目指す地域の日本語教室とサポーターの考える日本語教室の違いなど、それぞれの立場によって少しずつ感覚のズレがあったため、しっかりと町・コーディネーター・サポーターが共通意識をもって活動ができるように、定期的にミーティングの機会を設けた。 ・プログラム終了後のサロン継続を見据えた役割分担 現在は、ほとんどが町・コーディネーターで行っている運営の役割分担をサポーターにも割り振ることで、今後の安定したサロン運営につなげる。 今年度からは、サポーターが運営により関わる事ができるように、サロン内の活動の企画をサポーターに任せた。
成果	継続的に開催をしたことで、コーディネーター・学習者・サポーターが信頼関係を深める事ができたほか、他団体とのイベントや町のお祭りへの参加などにより、地域との交流機会も増え、地域の多文化共生の理解を深めることにもつながった。 サポーターが企画する活動を取り入れたことで、よりサポーターの主体性が増した。また、学習者にとってどのようなことが難しいと感じるのか、どのような工夫をすればいいのかなど、より日本語学習への理解が深まった。
地域の関係者との連携による効果	北海道後志総合振興局と連携し、事業を進める事ができたほか、さまざまな団体と共同でイベントを実施する事ができた。 また、関係各所へのヒアリングやアンケート調査等を行ったことで、地域の課題を確認するとともに、地域にサロンの存在を知ってもらうことにもつながった。
コーディネーターの主な活動	・ヒアリング・意見交換 町内の外国人雇用事業者、日本語教育先進地、学習者・サポーターなど ・にほんごサロン等の運営 サロン・勉強会・養成講座などの企画、周知・広報活動、参加申込受付、当日の運営など ・アドバイザー会議等の開催 日程調整、資料作成など
アドバイザーの主な助言	本町の外国人は、国籍や在留資格等が他の地域と傾向が異なるため、他市町村の事例を参考にすることが難しく、手探りの状態だったが、「町に居住する外国人の傾向をリストアップした表を作成し、どのニーズにアプローチするべきか、優先事項はなにか等を整理すると良い」との助言があり、この表のおかげでやるべきことが明確化し、迷わず進む事ができた。

今後の課題	・特定の人に負担がかからないような運営体制の検討 今年度より、サロン運営の一部をサポートにも移行し、一定の効果があつたものの、まだサロンの開催に関して町・コーディネーターの役割が多く、特定の人への負担が大きくなっている。将来的な自立や継続・安定的な開催をするために、今後も町・コーディネーター・サポートの役割分担を整理していく必要がある。 ・ターゲットを明確にしたサロン運営 外国籍住民の国籍・在留資格・滞在期間などがさまざまなため、どこにターゲットを絞るのか、もしくは、さまざまな学習者に対応できる形とするのか、といった検討を行い、今後もターゲットにあわせた独自教材づくりや、サロン運営を行う。 ・将来的な活動の広がりを見据えた予算確保 サロンの運営費や人材育成講座の開催経費、周知・広報活動に係る経費など、現在の活動を続けるにあたり必要となる予算のほか、さらなる活動の広がりも見据えて予算確保に努める必要がある。
今後の予定	(1)今後の日本語教育事業の展開について ①日本語教室の展開 安定した教室運営を目指し、今後も継続的に開催していく。また、他団体との交流イベントも活発に実施し、地域の多文化共生の拠点となるような場所づくりを目指す。 ②日本語教室の実施主体と行政の関与について これまで同様に町が主体となって実施していくが、将来的な自立や他団体への移行なども見据え、活動・運営体制のあり方の検討を続ける。 ③財源の確保について サロンの運営等に係る経費については、町負担で実施する。 (2) 今後の予定（取組等） 週2回のサロンの開催を継続 やさしい日本語研修やサポーターミーティングによる人材確保及び育成 多文化交流イベントの実施 など ※サロンやイベントの企画運営などに、町や日本人サポーターだけではなく、外国籍住民や学習者も積極的に参加できる環境を作っていき、多文化共生のすそ野を広げていく

本件担当： 俱知安町役場総合政策課広報広聴係